

日本事情 (Japanese Culture)

日本事情 I (Japanese Culture 1)

(留(留))

大石 寧子・教授/国際センター

2単位 前期 水 3・4

(平成 19 年度以前の授業科目:『日本事情』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『日本事情』)

【授業の目的】日本及び日本人について理解を深めることを目的とする。また知識を深めることによって大学生生活の環境を自ら整えることも目指す。

【授業の概要】日本の文化・習慣・常識・価値観などに関して、講演や資料を理解し、自国の文化・習慣・常識・価値観などとの比較を地域の人や日本人学生とのディスカッションを通して考えていく。また各人がテーマを決めて、調査・発表をする。

【キーワード】日本・日本人を知る

【先行科目】[先行科目]

【関連科目】[関連科目]

【到達目標】

1. 生教材(新聞・雑誌・テレビなど)を通して日本を理解する
2. 生教材を通して得たことをもとに自分のテーマで調査・発表をする
3. 調査・発表に関して日本人とのピアワークを遂行する
4. それぞれの過程で、日本語力のスキルアップを図る

【授業の計画】

1. 授業についてオリエンテーション, 受講者のディネス(これまでの学習等)調査
2. 生教材による授業①
3. 生教材による授業②
4. 生教材による授業③
5. 生教材による授業④
6. 講演のテーマについて準備(テーマ・語彙などの準備)
7. 日本文化についての講演を聞く
8. 調査のテーマを決める, 調査方法・手段を検討する
9. 調査①
10. 調査②
11. 調査内容について日本人とのピアワーク①
12. ピアワークをもとに調査内容の見直し①
13. 調査内容について日本人とのピアワーク②
14. ピアワークを元に調査内容の見直し②

15. プレゼンテーション

16. 総括授業

【教科書】随時プリント等の資料を配布する。

【参考書等】[参考資料]

【成績評価の方法】小レポート, プレゼンテーション, プレゼンテーションのまとめレポート, 授業への取り組み等を総合的に評価する。

【再試験の有無】無

【受講者へのメッセージ】調査では、日本人学生・地域の人達とのピアワークも行います。自分の日本語能力を最大限活用してみてください。

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220787>

【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ 大石寧子(国際センター 088-656-9875 oishi@isc.tokushima-u.ac.jp) (オフィスアワー: 金曜日9:30~ 12:00 但し事前に連絡があれば他の曜日・時間でも対応します。)

Japanese Culture

Japanese Culture 1

(留(留))

Yasuko OISHI · PROFESSOR / INTERNATIONAL CENTER

2 units 前期 水 3・4

(平成 19 年度以前の授業科目: 『日本事情』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『日本事情』)

Target) 日本及び日本人について理解を深めることを目的とする。また知識を深めることによって大学生活の環境を自ら整えることも目指す。

Outline) 日本の文化・習慣・常識・価値観などに関して、講演や資料を理解し、自国の文化・習慣・常識・価値観などとの比較を地域の人や日本人学生とのディスカッションを通して考えていく。また各人がテーマを決めて、調査・発表をする。

Keyword) 日本・日本人を知る

Fundamental Lecture) [先行科目]

Relational Lecture) [関連科目]

Goal)

1. 生教材 (新聞・雑誌・テレビなど) を通して日本を理解する
2. 生教材を通して得たことをもとに自分のテーマで調査・発表をする
3. 調査・発表に関して日本人とのピアワークを遂行する
4. それぞれの過程で、日本語力のスキルアップを図る

Schedule)

1. 授業についてオリエンテーション, 受講者のディネス (これまでの学習等) 調査
2. 生教材による授業①
3. 生教材による授業②
4. 生教材による授業③
5. 生教材による授業④
6. 講演のテーマについて準備 (テーマ・語彙などの準備)
7. 日本文化についての講演を聞く
8. 調査のテーマを決める, 調査方法・手段を検討する
9. 調査①
10. 調査②
11. 調査内容について日本人とのピアワーク①
12. ピアワークをもとに調査内容の見直し①
13. 調査内容について日本人とのピアワーク②
14. ピアワークを元に調査内容の見直し②

15. プレゼンテーション

16. 総括授業

Textbook) 随時プリント等の資料を配布する。

Reference) [参考資料]

Evaluation Criteria) 小レポート, プレゼンテーション, プレゼンテーションのまとめレポート, 授業への取り組み等を総合的に評価する。

Re-evaluation) 無

Message) 調査では、日本人学生・地域の人達とのピアワークも行います。自分の日本語能力を最大限活用してみてください。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220787>

Contact (Office-Hour, Room, E-mail)

⇒ 大石寧子 (国際センター 088-656-9875 oishi@isc.tokushima-u.ac.jp) (Office Hour: 金曜日9:30~ 12:00 但し事前に連絡があれば他の曜日・時間でも対応します。)